

除雪ボランティアさんが活躍

2月14日から降り始めた大雪により、相模湖地区も交通網が停滞し、日常生活が混乱しました。

2月22日(土)・23日(日)の2日間、市社会福祉協議会より市内全域からボランティアを募り、延べ31人のボランティアさんが高齢者・障害者のみの世帯で出入口や生活動線の雪かきが困難な世帯(相模湖地区8件、藤野地区5件)を対象に、除雪活動が行われました。



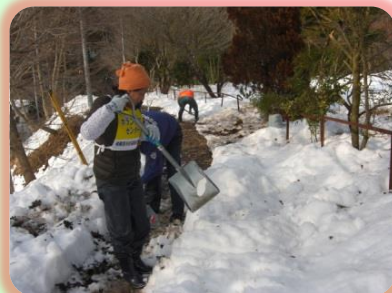
ボランティアの皆さんは相模湖総合事務所に集合し登録・保険加入の後、活動の注意事項等オリエンテーションを受け、グループに分かれて出発しました。

想像以上の積雪に驚き、持参したスコップで雪かきを開始！日陰で凍結して思うように進まない場面もありましたが、力を合わせて作業を行いました。

雪かきをしていただいた方からの感謝の言葉やお茶などが振舞われ、和やかなふれあいの場面もありました。



対象世帯の把握は、地域の民生委員さんの訪問活動により行われ地域の連携・協力による支援活動となりました。



保育園・幼稚園地域交流

お誕生会の予定 遊びに来てね

千木良保育園
☎684-3355
4/16(水)9:45
5/21(水)9:45

与瀬保育園 ☎684-2759
相模湖幼稚園
☎685-0770
4/15(火)10:00
5/13(火)10:00

内郷保育園
☎685-0002
4/16(水)10:00
5/15(木)10:00

《回収物品のご案内》

- ・ペットボトルのキャップ
- 津久井やまゆり園、総合事務所自販機横、社協事務所で回収しています。
- ・使用済み切手・はがき
- 社協事務所で回収しています。
- ・プルタブは平成26年3月で社協での回収を終了いたします。
- ※回収先については地区社協までお問い合わせください。

ボランティアグループ活動紹介 おはなしくレヨン



おはなしくレヨンは「子供たちが心豊かに育ってほしい」との願いをこめて相模湖地区の幼稚園、保育園、小学校等で絵本などの読み聞かせを行っています。また最近では地域の高齢者サロンに伺う機会も増えてきました。子供たちや地域の方から「おはなしくレヨンさんだ〜」とか「このあいだ聞きました。あのお話面白いね。」と声をかけて頂くことがあります。そういった皆さんの声が私達の活動の励みになっています。

現在会員は11名です。会員の選ぶ本はまさに十人十色で、昔話、外国の話、創作の話と様々な中から季節、時節にあわせた本を選ぶ事は大変でもあり楽しい事でもあります。

絵本というジャンルは子供だけのものではありません。人生経験があればあるほど主人公の考え方や行動がよくわかり大人にこそ読んでほしいものと考えますし、紹介していきたいと思えます。

これからも皆さんが笑顔になれる、ドキドキできる本を探す努力をしていきたいと思えます。
(代表 藤田尚美)



さがみ湖地区社協だより

第42号 平成26年3月16日発行

第8回相模湖地区社会福祉協議会

福祉のつどい

日時 平成26年2月1日(土)12:00~16:00
場所 県立相模湖交流センターにて開催



多目的ホール

第2部

福祉講談

講談師：神田 ^{かんだ} ^{おりね} 織音さん (14:05~15:25)

テーマ 認知症の理解と成年後見

- 第1話「認知症の老姉妹を喰い物に」 ~高齢姉妹に住宅リフォーム、訪問販売など悪の手が~
- 第2話「ボケちゃいないよ」 ~認知症患者を取り巻く家族の葛藤と支え~
- 第3話「生まれ変わっても母の子に」 ~桂川親子心中事件~

「織音師匠の熱演についつい引き込まれ、あっという間の1時間余りでした。どの話も身近で役立つ題材で、最後の、実在の「桂川事件」の話は、涙無くしてはいられませんでした。周りからはすすり泣く声も聞こえました。」
(監事 石田亘)

福祉のつとめ

開催の様子はこちら

多目的ホール

第1部 ボランティア標語コンクール表彰式 (13:00~13:20)



平成25年度ボランティア標語コンクールの表彰式が開催されました。

最優秀賞は、桂北小学校1年 榎本 彪吾さん(写真前列中央)の右の作品に決定しました。表彰式には、市社協マスコットキャラクター「にこまる」も飛び入り参加！受賞者と一緒に記念撮影する場面も…

最優秀作品は相模湖地区内の公共施設、受賞作品は相模湖地区内の小中学校に1年間掲示しますので、是非ご覧下さい。

多目的ホール

第2部

津久井養護学校太鼓コース 和太鼓演奏

(13:30~13:50)

演目 ①三宅島太鼓②ドド打ち太鼓
③楽走(らん)

毎週月曜日の午後、コース選択という授業で太鼓を練習しています。校内の発表だけでなく地域のお祭りやイベントでも年4回ぐらい演奏しています。今年度、地域・社会に顕著な貢献をした児童生徒に贈られる神奈川県教育委員会表彰を受賞しました。



「津久井養護学校の生徒さんの堂々とした力強い演奏は素晴らしかった。日頃のたゆまぬ練習・努力が伺え、見事でした。素晴らしい演奏、ありがとう！」
(監事 石田亘)

エントランスホール

福祉団体作品展示、自主製品販売・模擬店



おかげさまでそれなりに売上げました。

自主製品販売にも参加しましたが、もっと多くの模擬店や販売ブースが参加し、お祭り気分でもっと楽しめる内容にしてほしいという声が多くありました。

(緑第一障害者地域活動支援センター 代表 高橋清)



アートギャラリー

相模湖地域包括支援センター主催

ふくし用具展示コーナー

約110名の方が来場されました。介護を受ける方の状態に応じて福祉用具を展示いたしました。

また、身長・体重・血圧・握力・靴選びのための足の測定コーナーでは、それを目当てに来場された方も見受けられました。「自宅のシミュレーションが出来るような展示がされていてとても良かった」「義父のベッドを近いうちに借りたいので、イメージが出来て良かった」との意見を頂きました。

(相模湖地域包括支援センター 遠藤亮裕)



みめふりをしないでかろう あなたの

平成25年度 ボランティア標語コンクール最優秀作品

平成25年度 暮らしに役立つ交流会 開催結果

相模湖地区社会福祉協議会では、地域福祉に関する意識向上と地域参加を目的に、福祉に関する研修会と交流会を自治会、老人クラブと協力して実施しています。

平成25年度は15箇所で開催しました。2月23日に沼本自治会で開催した交流会の様をお届けします。

テーマ『食品表示の理解とチェック』

沼本自治会

観測史上初の大雪に見舞われた後の2月23日(日)、沼本自治会主催の「暮らしに役立つ交流会」が開催され、27名が参加しました。

(第1部) 講義

講師：南消費生活センター

消費生活相談員 坂田美陽子氏

60分余りの講義を受けました。食品表示について知っているようで知らなかった等、時には笑いや冗談も飛び出したり、クイズが出題されたりなごやかなひと時でした。



(第2部) 会食をしながら懇談

- ・今日の話聞いて、誤解や疑問点が多々あったことに気付かされた。
 - ・非常災害時のための地域に分散された備蓄品が欲しい。
 - ・高齢者家族を対象に隣家との安全確認インターホンの設置があったら。
- 等の意見が出され、近況を語り、親交を深めることができました。さらに地域福祉に対する関心の高さを痛感しました。(理事 大谷隆)

平成25年度 暮らしに役立つ交流会 開催結果

研修プログラム	主催自治会	開催回数
転ばないための体操	下町西部、山口、桂北、関口、小原	5
地域で支える認知症	阿津、中町、上町、千木良地区自治会連合会	4
食品表示の理解とチェック	沼本	1
わかって得する！生活習慣病	若柳、下東・神明合同	2
あなたを狙う悪質商法にご用心	寸沢嵐	1
知ろう！使おう！在宅介護・介護保険サービス	下町	1
地区社協事業紹介など	道志	1
合 計		15

※2月17日開催で準備を進めていた横橋自治会は雪のため中止になりました。